



日本の畜産を放牧で変えたい
～畜産の「楽しさ」「やりがい」伝えます作戦～



日本の畜産の現状



育成牛



肥育牛



繁殖牛



パドックの狭さ



「アニマルウェルフェア」を考えた飼養管理が必要！



日本にも「放牧」を実施している場所があります。特に、ホルスタイン種です。しかし、肉牛の飼養管理においては、求める肉質が違うので難しい現状がありますが、育成期や繁殖牛の管理では、ストレスフリーを元に「放牧」をすることで、強健な四肢を成長させることが可能となるのではないのでしょうか。

「放牧」をすることで…



- ①強健な四肢
- ②骨格の成長
- ③ストレスフリーなど

生産向上につながる

- 生乳生産向上
- 肉質生産向上

となれば、**収益も向上**



畜産業は「**資金**」がかかる！



など

収益が上がれば

家畜が臨む「**環境**」で飼養管理ができるだけでなく、「**スマート農業**」を活用した畜産業が可能となる。また、「家畜」が臨む環境になることは、「管理者」である私たちにも優しい環境といえるだろう。

どこで、「放牧」をすればいいのか！



耕作放棄地に家畜を放ち、**家畜を守る柵**を作ること**山林の管理**にもつながる。

「放牧」のメリット

- ①畜舎や飼料費(粗飼料)の**費用削減**できる！
- ②家畜の管理時間が減少するため、管理者の「**自由な時間**」が増える！
- ③「**家畜**」本来の姿でいられるため「**ストレスフリー**」になる。

さらに、「**シェアミルク**制度」を導入しよう！

「家畜と必要な機械や畜舎を所有する人」と、「土地を所有する人」が協力して畜産業を営む

例えば「**耕作放棄地**所有している人」と「**新規就農**で酪農を始めたい人」が協力する。



あとは、あなたの「**積極性**」それは、「**やる気**」

一緒に「**未来の日本の畜産**」のために「**放牧**」をキーワードに「**畜産**」をやりませんか？